

「安全・安心まちづくり活動」

宮城県防犯設備士協会の紹介

宮城県防犯設備士協会 会長
テルテック東北株式会社 代表取締役

及川 勝宏



1. はじめに

宮城県防犯設備士協会は、平成9年5月6日に設立され、今年で26年目を迎えました。これまでの約3年間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が制限される状況でしたが、令和4年6月13日に3年ぶりに総会を開催することが出来ました。その席上会長を拝命頂き、役員の方々に助けられながら2年目になります。

活動が制限される中、宮城県環境生活部安全安心まちづくり推進班のご協力のもと、県庁18階県政広報展示室企画展に12月から2月までの約2ヶ月間、会員企業の無人展示（各展示機器ごとのQRコードによる動画視聴）が出来ました。

2. 宮城県の犯罪状況

刑法犯認知件数は9,897件で、前年比で499件(5.3%)増加し、平成14年以降21年ぶりに増加しております窃盗犯は6,330件で、刑法犯全体の約64.0%を占めています。窃盗犯のうち、万引きが1,474件(約23.3%)自転車盗が1,295件(約20.5%)を占めています。特殊詐欺の被害は323件、被害総額は5億526万円であり、被害件数は前年比で43件増加、被害金額は約6,542万円増加しました。(宮城県警察本部資料より)

3. 宮城県防犯設備士協会について

設立目的は「会員相互の緊密な連絡協調及び警察との連絡を図り、防犯設備等の設置及び保守点検等に関する指導及び啓発を行うことにより、犯罪等の未然防止を図り、もって地域の安全確保に寄与すること。」を掲げ、平成9年5月6日設立されました。

現在、41社1個人会員で構成されております。

4. 活動目標

- 1.防犯設備等の設置及び維持に関する啓発
- 2.防犯設備等に関する調査及び研究
- 3.防犯設備等の需要者に対する指導及び教育
- 4.防犯設備の普及促進
- 5.各号を推進するための情報交換及び相互の連携
- 6.宮城県優良防犯アパート・マンション認定制度の推進

5. 当協会の活動

- 1.ポスター・チラシ・ホームページによる広報

協会のポスター・チラシ・のぼり等を利用し、またホームページのリニューアルを繰り返し、効果的な広報活動を展開する。

- 2.各種機関紙・小冊子等への掲載

防犯関係の各種機関紙・小冊子等への協会名称の掲載を実施する。

3.日本防犯設備協会等との連携活動

防犯設備の専門集団として各地域の協会とも情報交換をしながら当協会の活動を活性化させる。

- 1月10日、110番の日に模擬110番通報大会への防犯カメラによる模擬訓練参加。



- 宮城県警察本部発行「犯罪と防犯」チラシ広告。



- 宮城県県政広報展示室企画展「地域で守る犯罪防止用機器展」へ防犯設備機器展示。

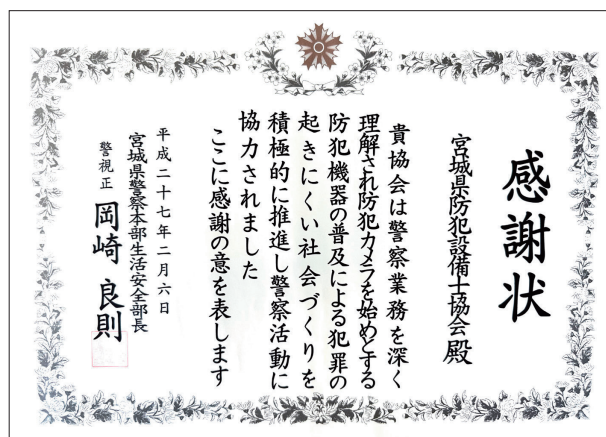
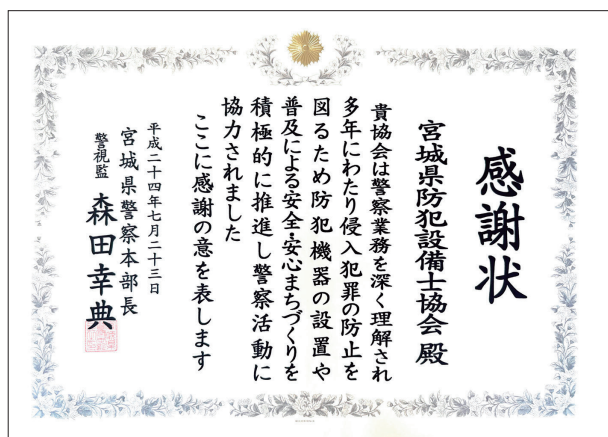


- 県内の身障者施設関係者による不審者対応訓練、さすまた使用訓練への防犯設備機器展示説明。



- 「全国地域安全運動」実施期間中協会25周年企画としてラジオスポット放送実施。

6. 受賞等



7. おわりに

コロナ禍もそろそろ終焉を迎えていますが、まだまだ予断を許さない状況であります。今まで行動規制により思うような活動が出来ませんでしたが、今年5月8日から5類感染症に移行になり徐々にではありますが回復してきてと思います。

当協会はボランティア活動ですが、今後協会運営の在り方や活動方法等再考し、宮城県防犯設備士協会の知名度向上に取り組み、会員への還元もできる事業、会員相互の協力のもと人材不足にも対応できる組織にしていきたいと思っております。

皆さんの御指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。